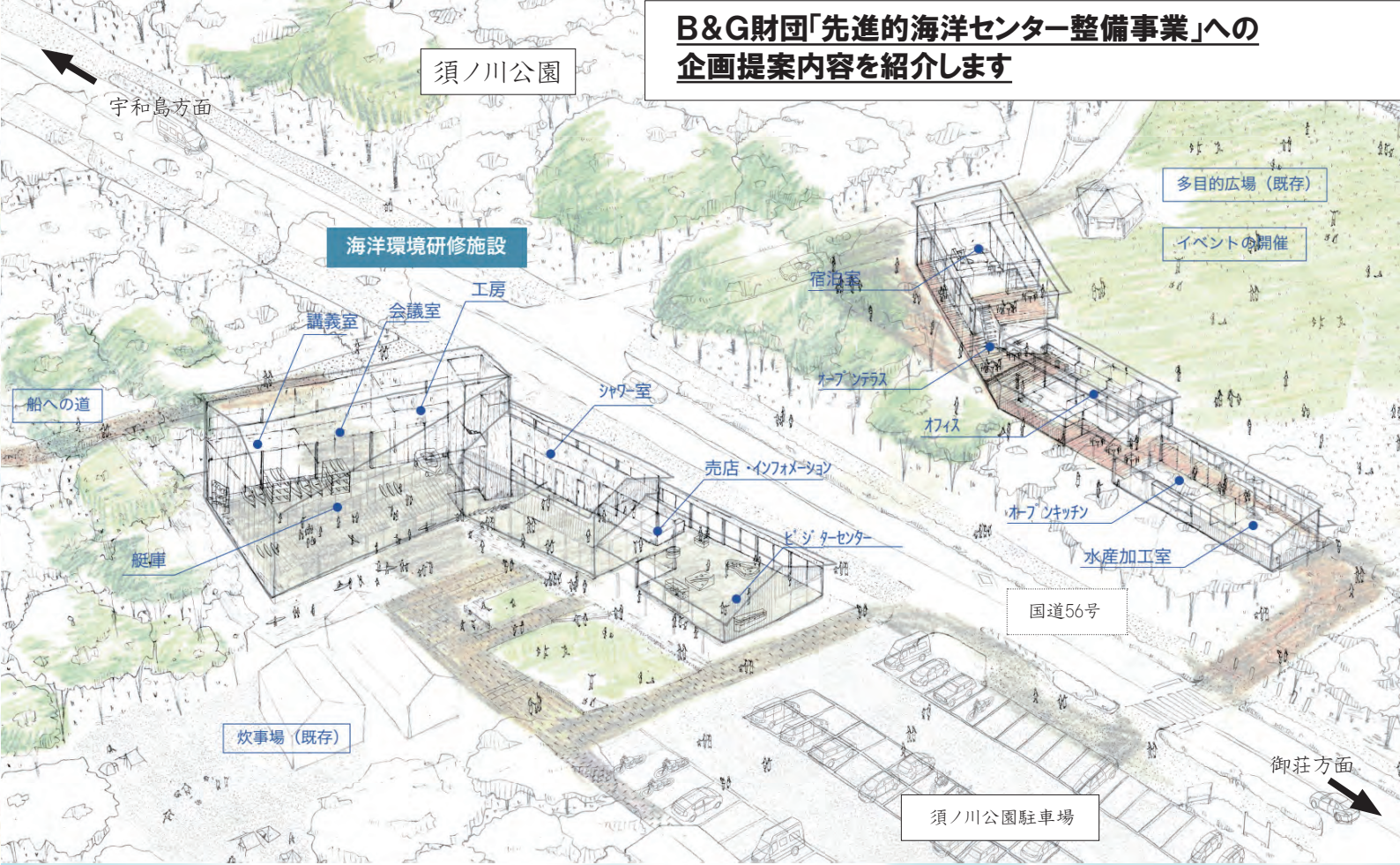


B&G財団「先進的海洋センター整備事業」への 企画提案内容を紹介します



海のうつわ

うみぎょう
～海業を軸とした「海体験」と「海学習」による地域活性化～

※本事業は、B&G財団に採択された場合のみ、事業化を進めるものです。

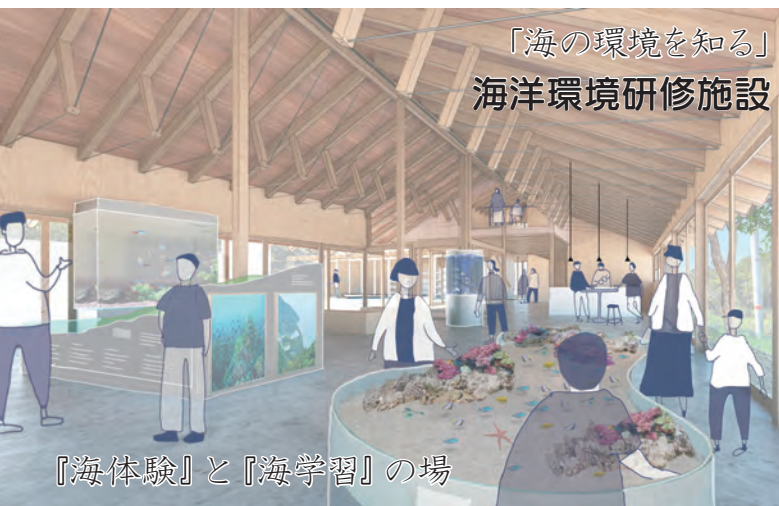
町は、公益財団法人B&G財団が募集する「先進的海洋センター整備事業」に対し、須ノ川地区を整備候補地とした企画提案を応募しています。この事業は、採択された場合に最大10億円の助成金を受けることが可能となり、第3次愛南町総合計画の目標に掲げる「地域資源の有効活用」「観光資源の充実」「スポーツツーリズムの推進」を達成するための拠点となります。

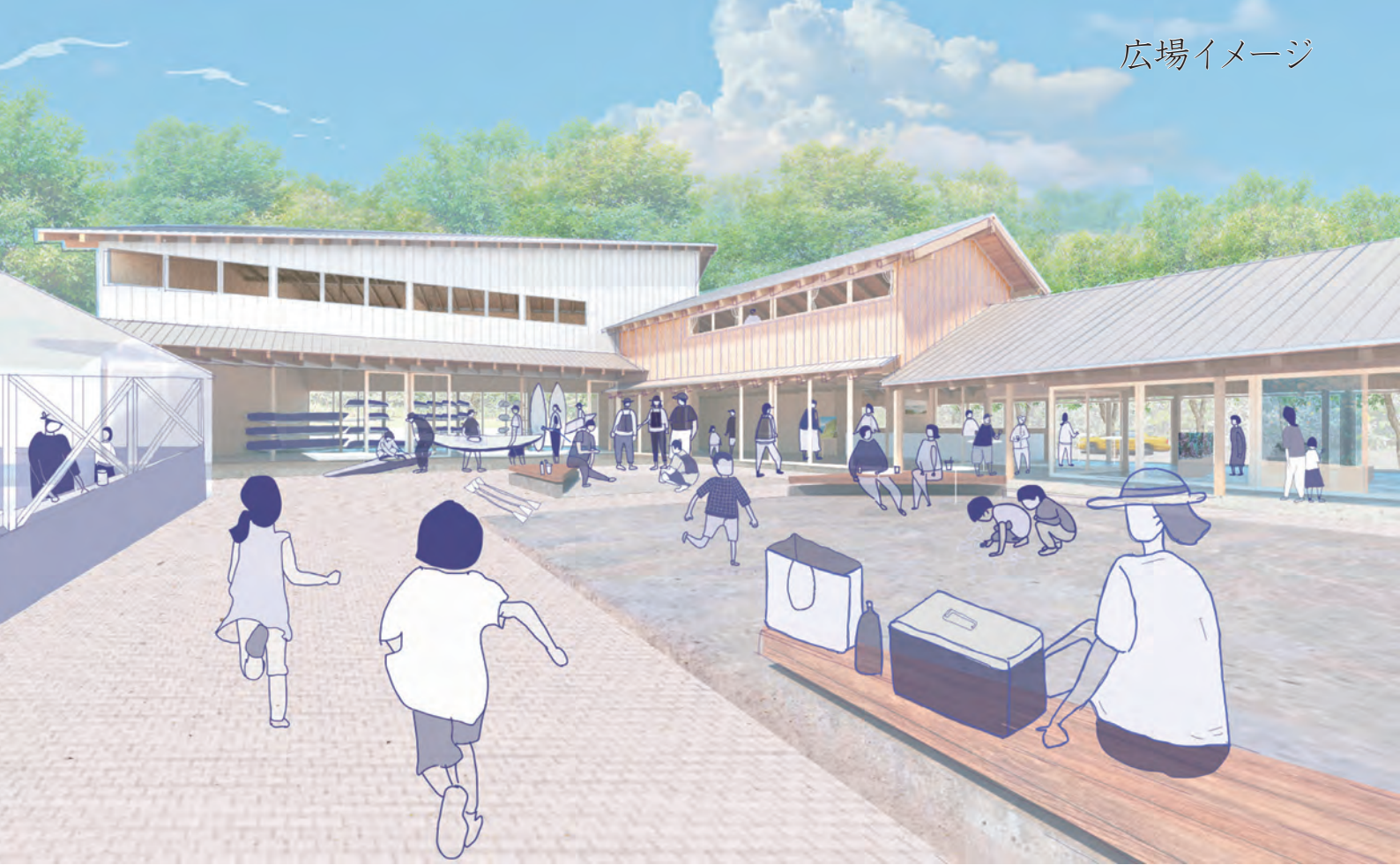
また、「海興し」を目的とする本事業は、町が今年度から推進する「海業」と連携して事業を展開することで、産業振興と観光振興への相乗効果が期待されます。本事業が採択されるかどうかは、年明けにないと分かりませんが、町の未来を考える上で重要な施策であると考え、10月23日(月)には、御荘文化センターにおいて住民説明会を開催しました。

審査の過程や事業化の際の条件整理によって内容は変わりうるものですが、今回は、説明会で説明した企画提案書の内容を紹介します。



▲住民説明会には約50人が参加しました





01 事業の目的

町の海の美しさや厳しさを体験、学習する拠点を整備することにより、地域の活性化、地場産業の持続化、発展的な海洋環境教育の3つを軸とした交流人口の増加、地域所得の向上、海のファンづくり、未来の海洋人材の育成による「海興し」を図ります。

02 事業費(案)

▶施設建設費用：約7.3億円

・海洋環境研修施設（延べ床面積846.1㎡）

・海業・交流施設（延べ床面積387.6㎡）

▶ソフトプログラム費用：約2.0億円

（初期費用含む）

03 提案のアピールポイント

町は、足摺宇和海国立公園として稀有な自然環境を有し、通年でマリンレジャーが体験できるとともに、漁業・養殖業の国内有数の基地でもあり、海と人間の付き合い方を多様な角度で提示できる強みを有しています。本施設は、この強みを国からモデル地区として選定された「海業」との連携により『海体験』と『海学習』プログラムに昇華させ「ここでしかできない体験と知見」を提供します。

5つの新事業

シーカヤック、SUPなどを収納する艇庫を有する先進的海洋センターを整備（海洋環境研修施設と海業・交流施設の2棟）し、一般来訪者を対象として次の5つの事業を展開することで、町の地域活性化を強力に進めます。

- (1) マリンアクティビティを核とした『海体験』事業
- (2) 海洋環境教育を核とした『海学習』事業
- (3) マリンレジャーと漁業の共存共栄関係の構築に向けた地場産業活性化事業
- (4) 海のコンシェルジュとなるビジターセンター運営事業
- (5) フィールド・イベント運営事業